

継続委 (7月28日 比叡山ホテル) メモ

出席者 湯川, 朝永, 坂田, 三宅, 小川, 牧, 山田, 高木
三宅, インド会議報告:

「世界5月号」にある報告をもとにして...

- オ一分科会 (集団安全保障):
ユーゴの会のむし返し, 新規新味はない.
- オ二分科会
核兵器保有国が他国に実用技術と伝える問題,
動力炉が多数できているので核兵器を作る可能性はある
(イリア, 中口)
- オ三分科会 (低中程口開閉)
- オ四分科会 (低中程口の科学技術)

問題となった点

NATO: 核技術の拡散

中口問題

- 政府的 (米, ソ) でありすぎる
- 軍縮問題などに新味がない (独創性を欠く)
- 技術的
- 口連などで行っていることをもし返している.

山田

- オ一分科会: 米, ソから報告者が出たことが象徴的,
Feld: 軍縮に関する情報の交換が大切
—— アメリカの Pugwash に対する考え方
ソ連: 一般の見方としているが 政府的.
こういう形をやってほく行くか.
- 口と scientist の関係が日本とはちがう — correlation は強い.
- 核兵器を持っている口は世界平和に責任があると小口
は云う — 口連の安全機構を通じて行え.

朝永, 湯川

集団(地域的)保障は問題にならないのか.

山田: 彼等は現実主義的である, 口連の機構を通じて行えということだ"

湯川：潜水艦問題は？

三宅：あまり問題にはなっていない。

山田：min. deterrence に対する考え方が米、ソで食違っている。
米は min. deterrence として潜水艦を考えている
ソ連は min. deterrence は基地を考えている。

湯川：いずれ潜水艦が min. deterrence になるとなると
どうすると困ったことになる。

朝永：1st strike にはだめで 2nd strike には使えるようなものは無い。

坂田：Pugwash は米ソの二体問題を認めているのみ。
Blackett 理論が基礎になつては困る。
汚染問題をとり上げるのは面白い。

湯川：Pug. はいつも汚染を遅く評価している。

朝永：海洋も定量的なデータを出すべきだ。

坂田：船と艦の区別がはっきりしているのか。

Vitale 提案について。

5大國以外の口は核兵器を永久に持たないことを誓わせる。

核兵器を持つている口が問題である。

2体でなると point-model である。

全面完全軍縮への近き方についてもっと議論する必要がある。

軍縮問題を討議することは一回位やめてはどうか。

南北問題をテーマにするのはどうか。→ 考え方のちがひ(指図) → バグワッシュの本来的な考え方

科学技術の negative side — 特に東南アジアに対する問題

汚染の問題

軍縮後の世界

国際協力 — long range.

批判を含めて日本の動きを News Letter にのせてもらえ。

経済の問題 short range
見通し

World Affairs の問題に対し 経済学者が一致できるか。

チコノ会議に 豊田氏に出ても5585に頼む

京都會議の今後。

各地。

アインシュタイン・ラッセルの statement. { 再
の勉強。

ラッセル論文

アインシュタインの公理にいろいろものがくっついてきている。

パグ・ラッセルのいままでのことの再評価

Pug. に対し。

○ 日本の運動の報告と Pug に対する批判を含め News Letter
にのせる。

i) Einstein-Russel の精神に戻れ

□、人種という立場でものをあつてはいけない。

ii) 軍縮問題の取上げ方に問題がある

技術的な問題に片寄りすぎている。

技術的に解決する
問題に問題を作り
みえている

更に本質的に中国が参加していないのは意味がある。

かつて米ソの話し合いが不可能であった時にパグの持った
意義の精神を考えると 中、米などの話し合いに関し
同様なことが必要である。

iii) 中口が参加し得る条件は 場所だけではない。

技術的だけでなく 人類の安全に関する 科学者の考え方を
交換する会を開くべきである。 基本的

iv) Wien 宣言で行われた口際協力の問題は今のよきな
思いつきではだめである

v) 東南諸国援助の問題も、単に機械的に資金を

つぎ進むようなことではだめで、何か有効であるかを
組織的に検討すべきである。科学技術の negative
side があってくるおそれがある。

以上は京都会議の問題としても考える。

他に京都会議の問題でもちるものとして

軍縮後の世界
long term の国際協力

京都会議当面の問題

- 経済の問題（軍縮に直接関係しなくても）を各地で
取上げて様子を見る。
- Russel-Einstein 声明の解釈と、Einstein の axioms
に これまでの Pugwash で"つけ加って来たものを検討
し勉強し直す。— Blackett 論文批判, Pugwash
会議そのものの限界について。